



お金を預けることで、借りることで、 誰かの役に立つしくみがあります。

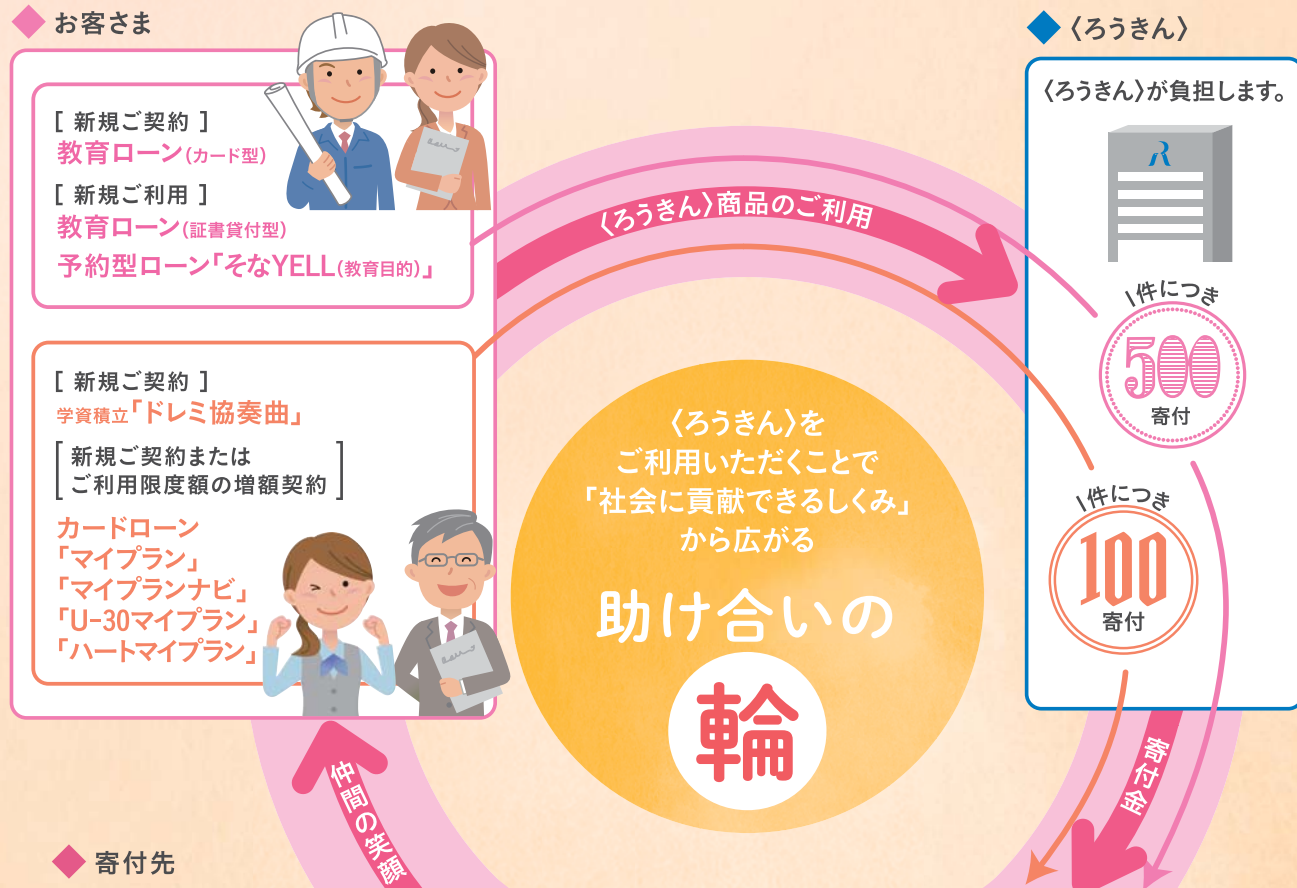
〈ろうきん〉は、働く仲間がつくった、働く仲間のための金融機関です。

だから、みなさまからお預かりした大切なお金は、住宅・車・教育等の低金利なローンやサービスを通じて働く仲間のより豊かな暮らしのために役立てられます。これは、〈ろうきん〉の誕生以来、ずっと変わらないしくみです。

そして、〈中国ろうきん〉が、2012年4月から実施している

〈ろうきん〉をご利用いただくことで「社会に貢献できるしくみ」は、ローンの契約や積立を始めるだけで、みなさまのご負担なく「支援が必要な誰か」の役に立つことができるしくみです。

～みなさまの想いが「支援が必要な誰か」につながります～



2018年4月1日から2019年3月31日までのご契約やご利用が対象となります。原則として3か月に1度、〈ろうきん〉が当該商品のご利用・実績にもとづく寄付金をまとめ、中国5県の「いのちの電話」に寄付いたします。

過去6年間の寄付実績

みなさまの〈ろうきん〉ご利用にもとづき、6年間で、**総額 21,023,267円**の寄付を行うことができました。みなさまのご利用を、心から感謝申しあげ、今後ともご支援とご協力をいただきますよう、お願い申しあげます。

[2017年度 寄付実績]

2017年4月～2018年3月末までのご利用実績数値にもとづき、下記のとおり寄付を行いました。

[ご利用内容] 教育関連商品のご利用とカードローンのご契約

[寄付先]
いのちの電話
(鳥取・島根・岡山・広島・山口)へ ……………合計 2,233,200円

●2012年度～2016年度の寄付実績

寄付年度	合計
2016年度	2,062,900円
2015年度	1,979,100円
2014年度	1,737,100円
2013年度	6,719,740円
2012年度	6,291,227円

◆ 「いのちの電話」とは？

「いのちの電話」の活動は、1953年に英国のロンドンで開始された自殺予防のための電話相談に端を発しています。日本ではドイツ人宣教師ルツ・ヘットカンプ女史を中心として準備され、1971年10月、東京でボランティア相談員による電話相談が開始されました。1977年、当時「いのちの電話」は全国にわずか5つのセンターでしたが、この市民運動を全国に展開するために、その中心的役割を担う組織が必要となり、「日本いのちの電話連盟」が結成されました。

全国に広がる「いのちの電話」

連盟加盟センター **49**カ所

分室を含め電話相談を実施している都市 **約60**カ所

ボランティア相談員 **約6,500**人 (2016年現在)

24時間365日、眠らないダイヤルを受け続ける相談員は、臨床心理学の講座やロールプレイングなど、2年間の養成を経て認定されたボランティア。「相談者に心を寄せ、傾聴する訓練」をしっかりと積み、相談者の「死にたい」ということばの奥に隠れた、「生きたい」という想いを引出すため、日々尽力しています。



まだまだ電話回線と相談員を増やすことが課題です。

くわしくは 一般社団法人 日本いのちの電話連盟 <https://www.inochinodenwa.org>

タメ・タメ・ハプレゼントの制度で社会貢献!

〈中国ろうきん〉とのお取引に応じてポイントが発行され、そのポイントを貯めて、希望する景品やコースと交換することができます。

景品に交換して社会貢献

働く意欲がありながら障がいなどの理由により、一般の事業所で就労する機会を得にくい方々が、福祉施設や福祉作業所で作成した商品に交換していただくことで社会に貢献することができます。

寄付して社会貢献

東日本大震災遺児支援コース

対象団体:あしなが育英会

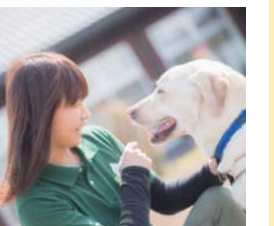
親を亡くした子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体。行政からの助成や寄付を受けず、毎年約6,000人の遺児に奨学金を貸与しています。寄付金は心のケア施設「東北レインボーハウス」の運営費用などに活用されます。



盲導犬育成支援コース

対象団体:公益財団法人日本盲導犬協会「島根あさひ訓練センター」

「島根あさひ訓練センター」は、中国・四国エリア初の盲導犬育成施設。盲導犬の育成・訓練のほか、視覚障がいのある人が日常生活をスムーズに送ることができるようにするためのリハビリや啓発活動を行っています。寄付金は、盲導犬育成費用に活用されます。



▶1～2ページで「盲導犬」についてご紹介しています。

いのちの電話支援コース

対象団体:中国5県の「いのちの電話」

電話を通して人々の悩みを聞き、隣人として共に考え、心の支えになっていこうという活動を行っている団体。日本自殺予防学会や国際自殺予防学会と連携し、全国約60カ所の拠点で約6,500人のボランティア相談員が活動しています。寄付金は、いのちの電話の運営費用に活用されます。



ろうきん森の学校支援コース

対象団体:NPO法人 ひろしま自然学校

労働金庫連合会50周年記念の社会貢献活動として2005年にスタート。「NPO法人 ひろしま自然学校」が中心となって運営しています。森の基盤整備や自然体験を行う人材を育成する等の目的で活動を続けています。寄付金は、ろうきん森の学校の運営費用に活用されます。



▶3～4ページで「ろうきん森の学校」の活動をご紹介しています。

ご報告 2017年10月～2017年12月のポイント交換期限内に、たくさんの方から、「社会貢献」の4つのコースを選択していただきました。みなさまからお寄せいただいたポイントをもとに、2018年6月に次のとおり寄付を行いました。

社会貢献(寄付先)	寄付金額
東日本大震災遺児支援コース(あしなが育英会)	2,651,600円
盲導犬育成支援コース(島根あさひ訓練センター)	1,778,440円
いのちの電話支援コース(中国5県の「いのちの電話」)	723,460円(各県144,692円)
ろうきん森の学校支援コース(NPO法人ひろしま自然学校)	265,060円
合計	5,418,560円

【お知らせ】
タメ・タメ・ハ プレゼントは、2018年9月のご案内分をもちまして終了させていただきます。長きにわたりご愛顧いただきありがとうございました。